

図書館だより



2022. 1. 21
発行：磐城高校図書館

2022年の本屋大賞ノミネート作品が発表！

芥川賞や直木賞よりも書店の売り上げを左右すると言われる本屋大賞。

そのノミネート作が20日に発表されました。大賞の発表は4月6日です。



赤と青とエスキース	青山 美智子／著	◆正欲	朝井 リョウ／著
◆硝子の塔の殺人	知念 実希人／著	◆同志少女よ、敵を撃て	逢坂 冬馬／著
◆黒牢城	米澤 穂信／著	星を掬う	町田 そのこ／著
残月記	小田 雅久仁／著	◆夜が明ける	西 加奈子／著
◆スモールワールドズ	一穂 ミチ／著	◆六人の嘘つきな大学生	浅倉 秋成／著

※◆がついている本は図書館にあります。所蔵のない本は現在注文中です。

同じく19日に決定した2021年度下半期芥川賞・直木賞は以下の通りでした。

芥川賞：『ブラックボックス』 砂川 文次／著

直木賞：『黒牢城』 米澤 穂信／著 『塞王の楯』 今村 翔吾／著（現在注文中）



今月の新着図書から Pick Up

- ・複製可能なデジタルアートが約75億円で落札されたことで大注目。→『NFTの教科書』
- ・崩壊から30年。あの大国は、一体なんだったのか。→『図説 ソ連の歴史』
- ・国際的には国とは認められていない、民主主義国家。→『謎の独立国家ソマリランド』
- ・コロナ禍でゲームも新車もパソコンも品薄。国が巨額補助で海外会社を誘致したのも話題に。
→『日本半導体 復権への道』
- ・選手生命を脅かす病と闘ったアスリートたち。長年謎に包まれていた、この病の正体とは？
→『イップス 魔病を乗り越えたアスリートたち』
- ・不老処置で皆若々しいまま生きていけます！ でも、百年経ったら死んでくださいね？
→『百年法』
- ・シェイクスピアの一戯曲だけで、こんな豪華な執筆陣のアンソロジーが可能になるなんて。
→『ハムレット！ ハムレット！！』